

世界ジオパークを目指して 佐渡市の取り組み

To become a member of the Global Geoparks Network -Introducing the ongoing efforts of Sado City-

市橋 弥生^{1*}

ICHIHASHI, Yayoi^{1*}

¹ 佐渡市教育委員会社会教育課ジオパーク推進室

¹Sado City Board of Education Geopark Promotion Office

佐渡島は日本列島のほぼ中央に位置する、日本海最大の島である。280 kmの海岸線は砂浜、岩場など非常に多様性に富んでいる。最近ではG I A H S (世界農業遺産)にも認定され、「金を中心とする佐渡鉱山の遺跡群」が世界遺産の暫定リスト入りを果たしている。また、朱鷺の放鳥も行われ、生物多様性の島としても注目されている。

佐渡市ではジオパークのテーマを「金と銀の島、佐渡島でたどる日本海3000万年・佐渡島300万年の旅とひとの暮らし」としている。佐渡島を10か所のジオサイトに分け、それぞれのサイトを巡ることで佐渡島の成り立ちや日本海の成り立ち、そしてそこに住む人々の暮らしを理解することができる。

ジオパークに関する推進活動としては、2010年から市民講座を行っている。2011年4月からはジオパーク推進室として本格的に活動を開始した。具体的には、引き続き市民講座の開講、島内の学校への出前授業、講演会などである。延べ人数は合計3000名以上に上る。また、各ジオサイトの整備が必要な場所の調査なども行った。

佐渡市では2013年に日本ジオパークへの登録を目指し、現在活動を行っている。そして、2015年には世界ジオパークへの登録も目指している。

今後は主に小木半島ジオサイトの整備を進めて行く予定である。具体的には、遊歩道の整備や看板の設置などを検討している。また、市民講座に加え、ガイドの養成も本格的に行っていく。そして、島民にジオパークという言葉を知ってもらうことが最重要であると考えている。

キーワード: 佐渡島, ジオパーク, 佐渡金山, GIAHS (世界農業遺産), 世界遺産

Keywords: Sado Island, Geopark, Sado Gold Mine, Globally Important Agricultural Heritage System, World Heritage